

マンドム

福岡工場内に新生産棟を 竣工、環境負荷への配慮も

マンドムは、福岡工場（兵庫県神崎郡）敷地内に、新生産棟（第5工場）を9月16日に竣工した。新工場の稼働により、生産能力は従来比1.6倍（年間2.3億個）となる。また、既存の生産棟と一体化し、自動化や少人数化をさらに進め、安心・安全・生産性の向上を図る。屋上へ太陽光パネルを設置するなど環境負荷の軽減にも貢献する。

同社はグループ全体のイノベーションセンターとして、既存棟とは連絡通路で接続し移動可能にしたことで、原材料搬入から製品が完成するまで



で日本、インドネシア、中国の3拠点に工場をもつ。国内唯一の生産拠点である福岡工場は、国内・海外向け製品の生産だけでなく、海外生産拠点に対して技術革新や人材育成支援といったグループ

花王

カーボンゼロの実現に向け コーポレートPPAを初採用

人とモノが屋外に出るこ
とがなくなり、従業員動
線の削減に加え、クリー
ンな環境でのモノづくり
をさらに進める。
新工場屋上には太陽光
パネル1728枚を設
置。晴天時には最大50
0kWの電力自家発電を
実現する。新工場生産エ
リアの構造は、製造工程
上層階から下層階へ重
力を利用して中味を移
送する省エネ設計となっ
てい

花王は、脱炭素社会の実現に向け、2040年までにカーボンゼロ、2050年までにカーボンネガティブを目指す一環として、発電事業者のジェネックス・小売電気事業者のみんな電力と、コーポレートPPA（Power Purchase Agreement）電力購入契約）の基本契約合意書を締結した。電力の受給は、2022年2月に開始予定で、花王本社で活用していく。

コーポレートPPAは、従来の非化石証書などとは異なり、需要家が発電事業者より直接、再生可能エネルギーを固定価格で長期間購入するスキーム。需要家は安定的な再生可能エネルギーの調達が可能になり、発電

事業者は資金調達がしやすくなることで、新たな発電設備への投資を推進することができるとい
日本におけるコーポレートPPAの実績はまだ少なく、花王においても初めての採用となる。また、花王が参加する持続可能な脱炭素社会をめざす企業グループ、日本気

候リーダーズ・パートナーシップ（JCLP）による「JCLPコーポレートPPA組成プロジェクト」の採用第一弾となる。

花王では、2019年4月に策定したESG戦略「Kirei Lifestyle Plan」（キレイライフスタイルプラン）で19の重点取り組みテーマを設定しており、コーポレートPPAの採用は、重点取り組みテーマの「脱炭素」に貢献する活動となる。

今回のコーポレートPPA採用では、ジェネックスの太陽光発電設備（静岡県建設予定）に加え、みんなパワーの太陽光発電設備（兵庫県、奈良県）で発電される再生可能エネルギーも購入し、みんな電力を通して供給を受け、花王本社ですべて活用していく。

発電量は、花王本社の年間使用電力の約30%にあたる約850MWhを見込んでおり、年間約460トンのCO₂排出量削減につながる。花王本社で使用する残りの電力についても、非化石証書を使用した電力を使用していく。これにより、花王本社における年間使用電力約2800MWhの100%再生可能エネルギー化を達成し、年間約1500トンのCO₂排出量を削減する見込みだ。

記者の窓

様々な業界でDXが推進されている。コロナ禍が後押しし、変化のスピードも速まっている。

ミルボンは、美容室出店型のオンラインストア「milbon..id」において、美容室で使用されている各種POSシステムとの連携を10月1日より順次スタートしている。

各社のDX

場合、その売上はレジのPOSシステムとは別々に管理する必要があった。

milbon..idとPOSシステムをデ

なり、売上分析などが容易になる。

また、美容室ではスタッフなどの売上管理を行うことが一般的だが、連携により、これ

(上)